

議決権行使レポート

証券コード 6674

会社名 ジーエス・ユアサ コーポレーション

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役7名選任の件			
村尾 修 氏	○		
澁谷 昌弘 氏	○		
福岡 和宏 氏	○		
松島 弘明 氏	○		
大谷 郁夫 氏	○		
松永 隆善 氏	○		
野々垣 好子 氏	○		
第3号議案 監査役1名選任の件			
中川 正也 氏	○		
第4号議案 取締役賞与支給の件	○		

第1号議案 剰余金処分の件

今期の配当性向が28,940.5%とISSの2023年度版「日本向け議決権行使助言基準」で示されていた基準である配当性向が15%~100%の基準を満たしているため、剰余金処分について大きな問題は見られないと考えたため賛成した。

第2号議案 取締役7名選任の件

(1) 村尾 修 氏

彼は2015年から現在に至るまでの長期間取締役社長としての実績と経験を積んできている。さらには製造及び生産部門での経験や見識を有しているため会社全体の統率能力の高い人物であると判断したため賛成とした。

(2) 澁谷 昌弘 氏

彼は自動車管理部門での業務の経験があるだけでなく、海外子会社での役員をしていたこともありグローバルな視点での経営の監督を行うことのできる人材であると考えた

め賛成とした。

(3) 福岡 和宏 氏

彼は情報システム、経営戦略、人事などの部門における業務経験や海外の子会社での役員を務めたこともある。このことから彼は多様な業務経験から多角的な視点を持ってグループ経営全体の統括に適した人材であると判断して賛成とした。

(4) 松島 弘明 氏

彼は経理、財務、情報システムの管理部門における業務経験がありほかの取締役とは異なる分野での経験を活かした統括が行える人材であると判断したため賛成とした。

(5) 大谷 郁夫 氏

彼は持ち株会社における経営管理の経験があり経営管理に関する深い見識があるため中立的な立場からの監督機能を発揮してくれるであろうと考えたため賛成とした。

(6) 松永 隆善 氏

彼はグローバルに展開する企業で取締役を務めたことがあり、さらには上場企業で監査を務めたこともあることから中立的かつ客観的な経営管理が可能な人材であると判断したため賛成とした。

(7) 野々垣 好子 氏

彼女はグローバルに展開する上場企業での事業部門での業務経験があるだけでなく上場企業での取締役としての経験もあるため経営における幅広い知識のある人材であると判断したため賛成とした。

第3号議案 監査役の選任の件

中川 正也 氏

彼は国際事業部での業務経験があり、さらに海外子会社の経営を行っていた経験から経営及び管理に関する幅広い知識があると考えられるため。企業の監査機能がさらに改善されることが期待できると判断したため賛成とした。

第4号議案 取締役賞与支給の件

取締役賞与支給については取締役会でもできるのだがあえて株主の意見を聞いており、

取締役を中心とする経営陣の株に市に対する真摯な姿勢が見受けられる。また、経営状態も株価の急激な下落や業績の大幅な悪化が見られないことから経営陣の十分な働きが考えられる。そして額についても妥当な額の範疇を超えていないため賛成とした。

以上

<参考資料>

「2023年度版日本向け議決権行使助言基準」

[Japan-Voting-Guidelines-Japanese \(1\).pdf](#)

(最終閲覧日 2023年6月25日)

「ジーエス・ユアサ コーポレーション第19期定時株主総会招集ご通知」

[140120230531589974.pdf \(jpx.co.jp\)](#)

(最終閲覧日 2023年6月25日)

「ジーエス・ユアサコーポレーション2023年3月期決算短信」

[ER20230511.pdf \(gs-yuasa.com\)](#)

(最終閲覧日 2023年6月25日)

「ジーエス・ユアサコーポレーション 株式状況」

[株式状況 | GSユアサ \(gs-yuasa.com\)](#)

(最終閲覧日 2023年6月25日)